

#### 4. 金沢ささえあいプランについて

問 1 5 あなたは、金沢区地域福祉保健計画「金沢ささえあいプラン」を知っていますか。  
(単一回答)

- ・「計画自体を知らない」(86.0%)の割合が最も高く、9割近くを占めており、認知度が低い。知っている割合は、「計画があることは知っている(聞いたことがある)」(10.5%)、「計画の内容(全部または一部)を知っている」(1.4%)に留まっている。

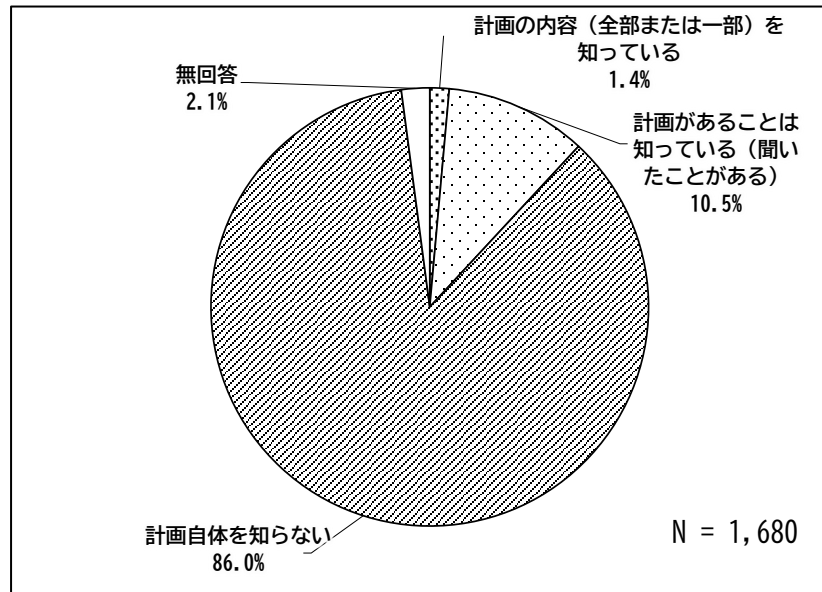


図 「金沢ささえあいプラン」認知度

#### ■ 令和元年度調査との比較

- ・R1調査に比べて、「計画の内容(全部または一部)を知っている」と「計画があることは知っている(聞いたことがある)」の割合が、ともに減少しており、認知度が全体的に減少している傾向が見られる。

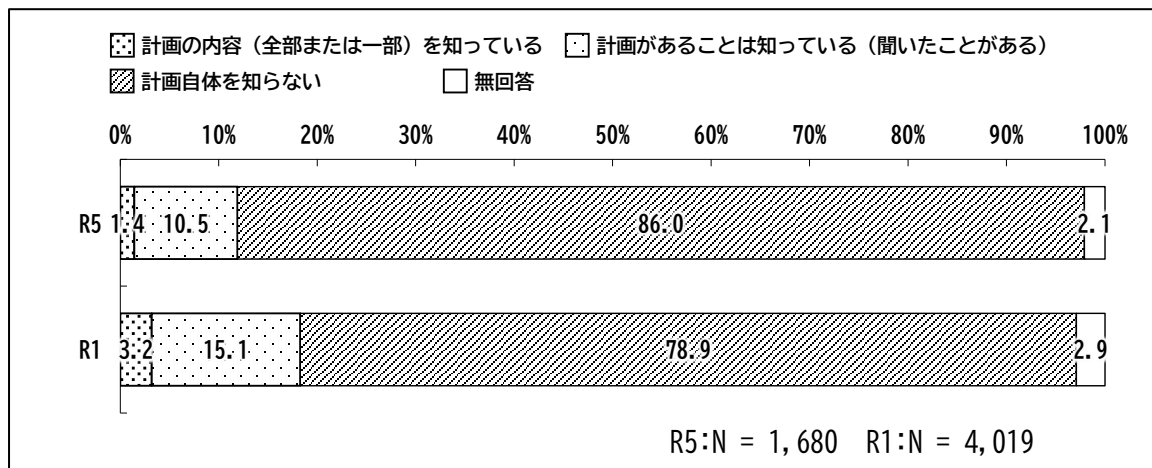


図 「金沢ささえあいプラン」認知度

## ■ 年齢別比較

- ・年代が上がるにつれて、認知度が上がっているが、70歳以上でも、「計画の内容（全部または一部）を知っている」と「計画があることは知っている（聞いたことがある）」を合わせても20.3%と、7割以上が「計画自体を知らない」となっており、認知度は低い。

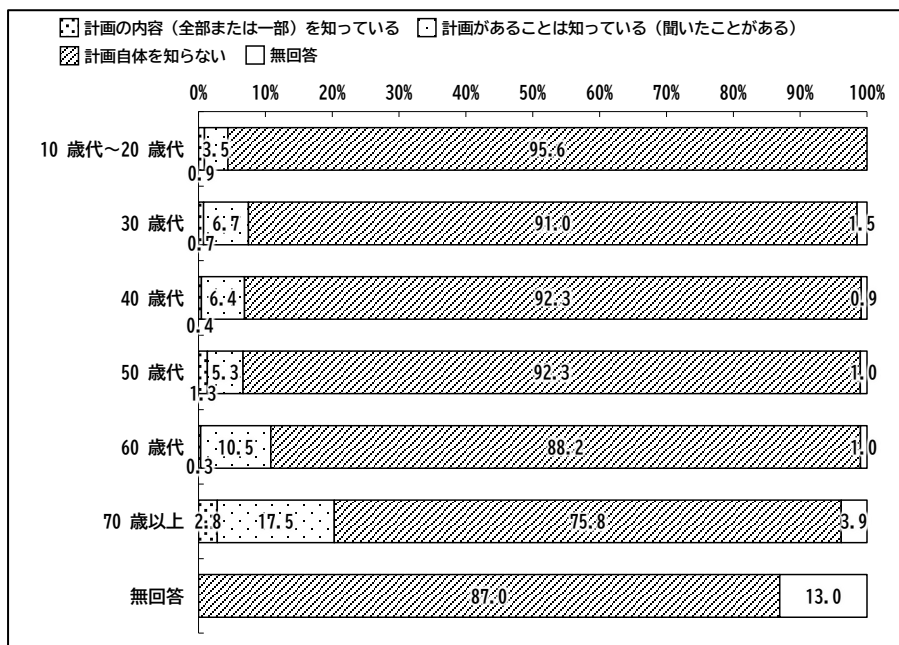


図 年齢別比較

## 問16 「金沢ささえあいプラン」で目指している次の1～7の姿に対して、あなたの住んでいる身近なまちについてどのように感じますか。（単一回答）

- ・「どちらかというとできていない」と「できていない」を合わせた割合が、全ての項目で5割を超えている。一方、「できている」と「どちらかというとできている」を合わせた割合が、一番高い項目は「(6) 様々な媒体や機会を通じて健康づくりに役立つ情報が提供されている」(34.4%)であるが、3割強に留まる。

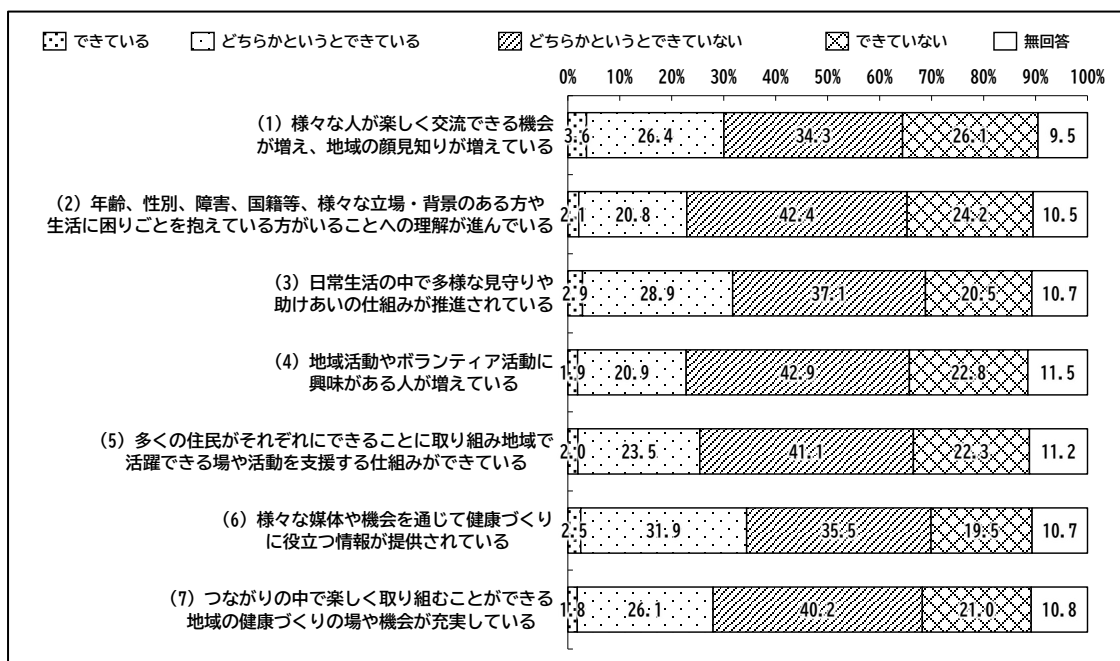


図 「金沢ささえあいプラン」で目指している姿の実現状況

■ 令和元年度調査（参考）

・両年度の選択肢が異なるのと、重複していると思われる項目もある為、単純に比較できないが、参考として掲載する。

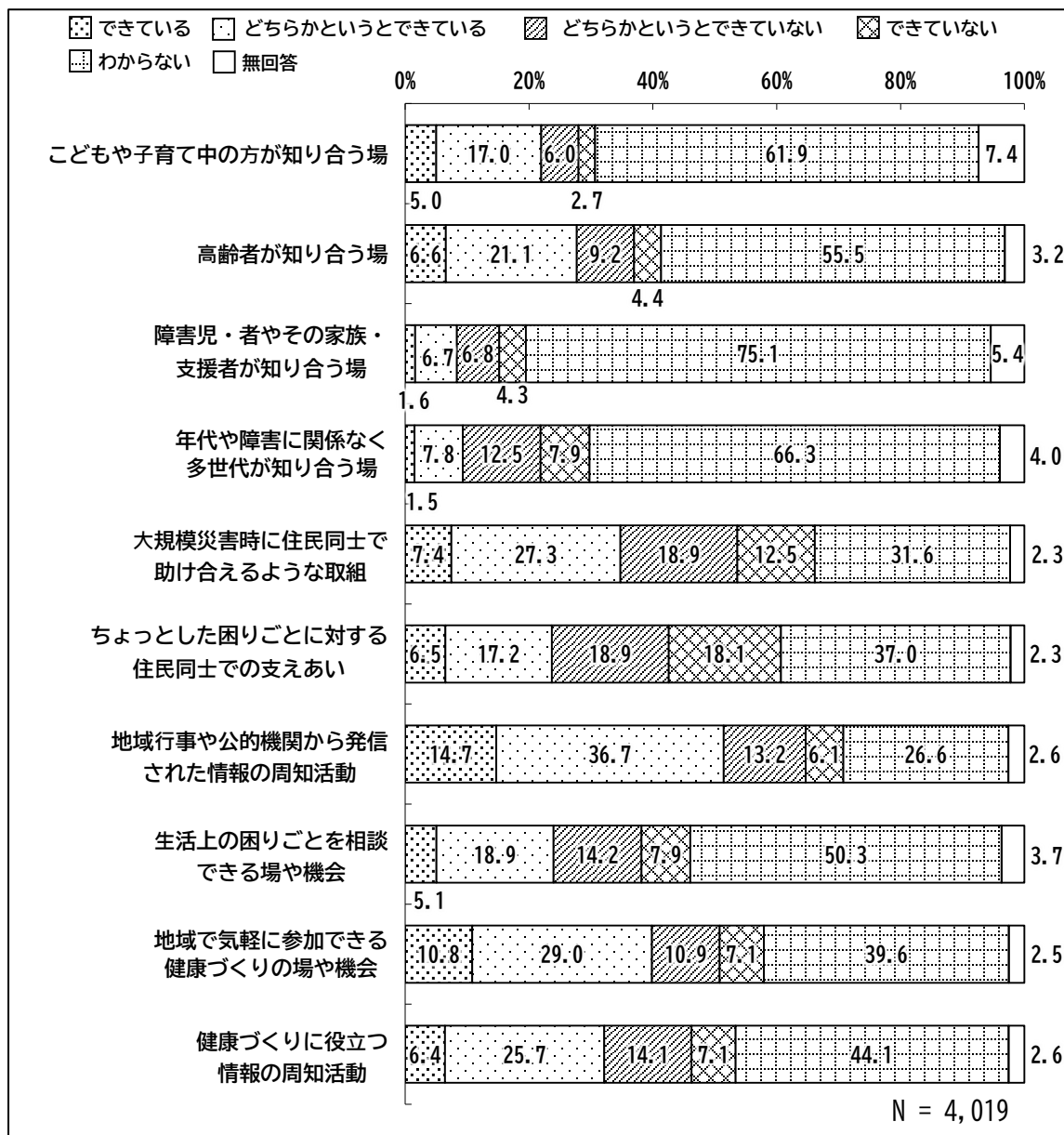


図 令和元年度調査（参考）

**問 17 地域のつながりについて伺います。あなたは、困った時に隣近所の人から助けられると思いますか。(単一回答)**

・「そう思う」(12.7%)と「どちらかというと思う」(46.3%)の割合を合わせて、6割近くの方が、「困った時に隣近所の人から助けられる」と考えている。

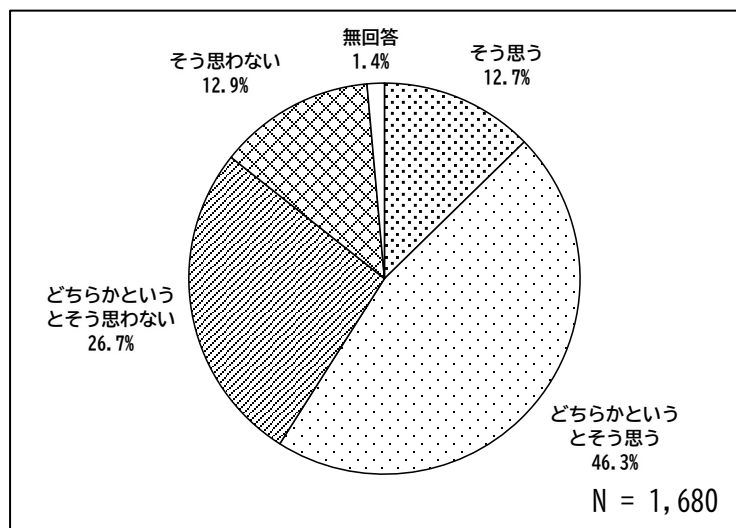


図 地域のつながり

■ **地域のつながり (年齢別)**

・各年代にバラつきが見られ、年代よる傾向は見られない。全年代を通じて、「どちらかというと思う」の割合が3割後半から4割後半、「どちらかというと思わない」の割合が2割前半～3割前半となっている。

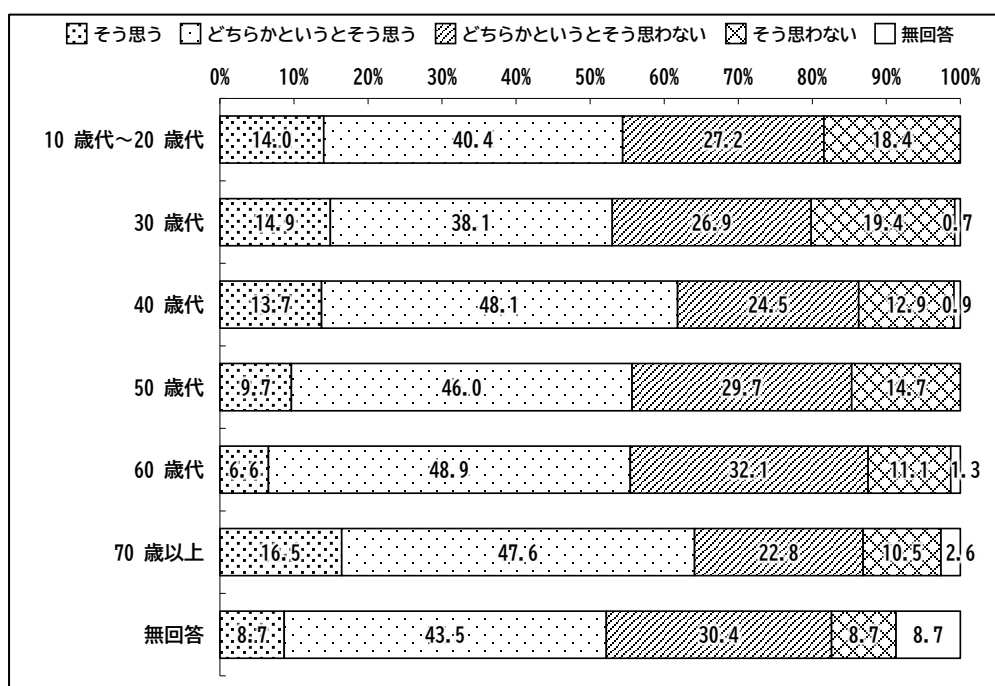


図 地域のつながり (年齢別)

**問 1 8 地域で「顔見知りの関係」を築いていくために、あなたが、取り組めると言うことは何ですか。(複数回答)**

・「近所での挨拶・声掛け」(84.5%)の割合が最も高く、8割以上を占めている。「近所での普段からの付き合い」(48.2%)の割合も2番目に高く、「近所での行動」を重視している傾向となっている。また、「まちに感心を持つこと(回覧板や掲示板を見る)」(40.0%)や「自治会町内会活動への参加(防犯や美化活動など)」(32.6%)等の自治会活動も重視されている。

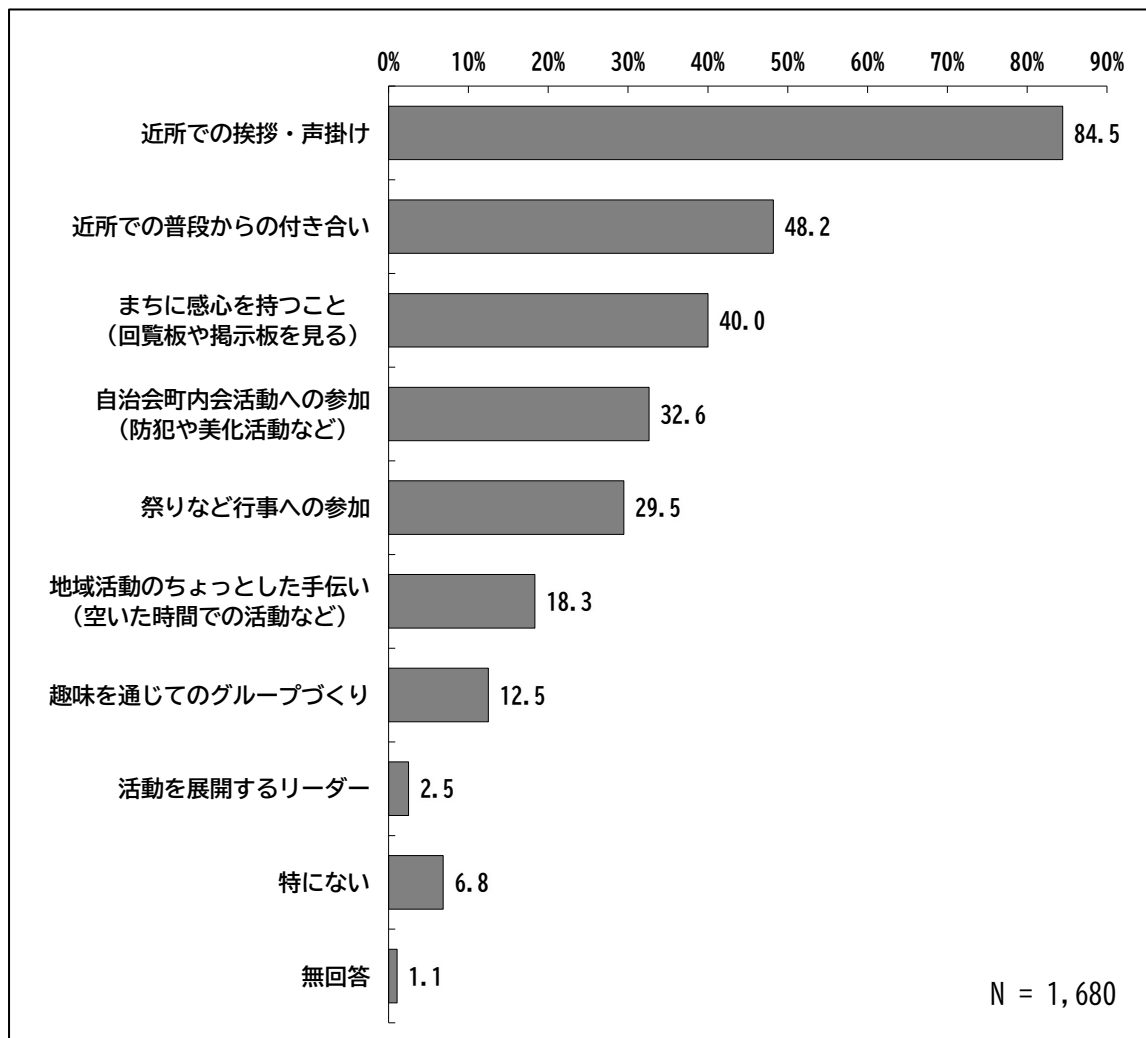


図 「顔見知りの関係」を築いていくための取組

■ 「顔見知りの関係」を築いていくための取組（年齢別）

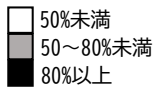
・世代別では、30代以下では祭りなどの行事を多く選択し、60代以上では「普段の付き合い」を重視する等の以下の様な異なる傾向が見られた。関係を構築したい世代を意識した上で取組を考えることは、各世代を巻き込んだ地域での関係づくりにおいて大切なポイントと考えられる。

【特徴的なポイント】

- ① 挨拶声掛け : 全世代で8割を超えている
- ② 普段からの付き合い/まちに関心を持つ/自治会への参加 : 世代が上がるにつれて付き合いや町内活動を重視、特に60代以上で「普段からの付き合い」は5割を超えている
- ③ 祭りなど行事 : 30代以下では3番目に多く選択されており、他の世代と比較して順位・数値共に高い

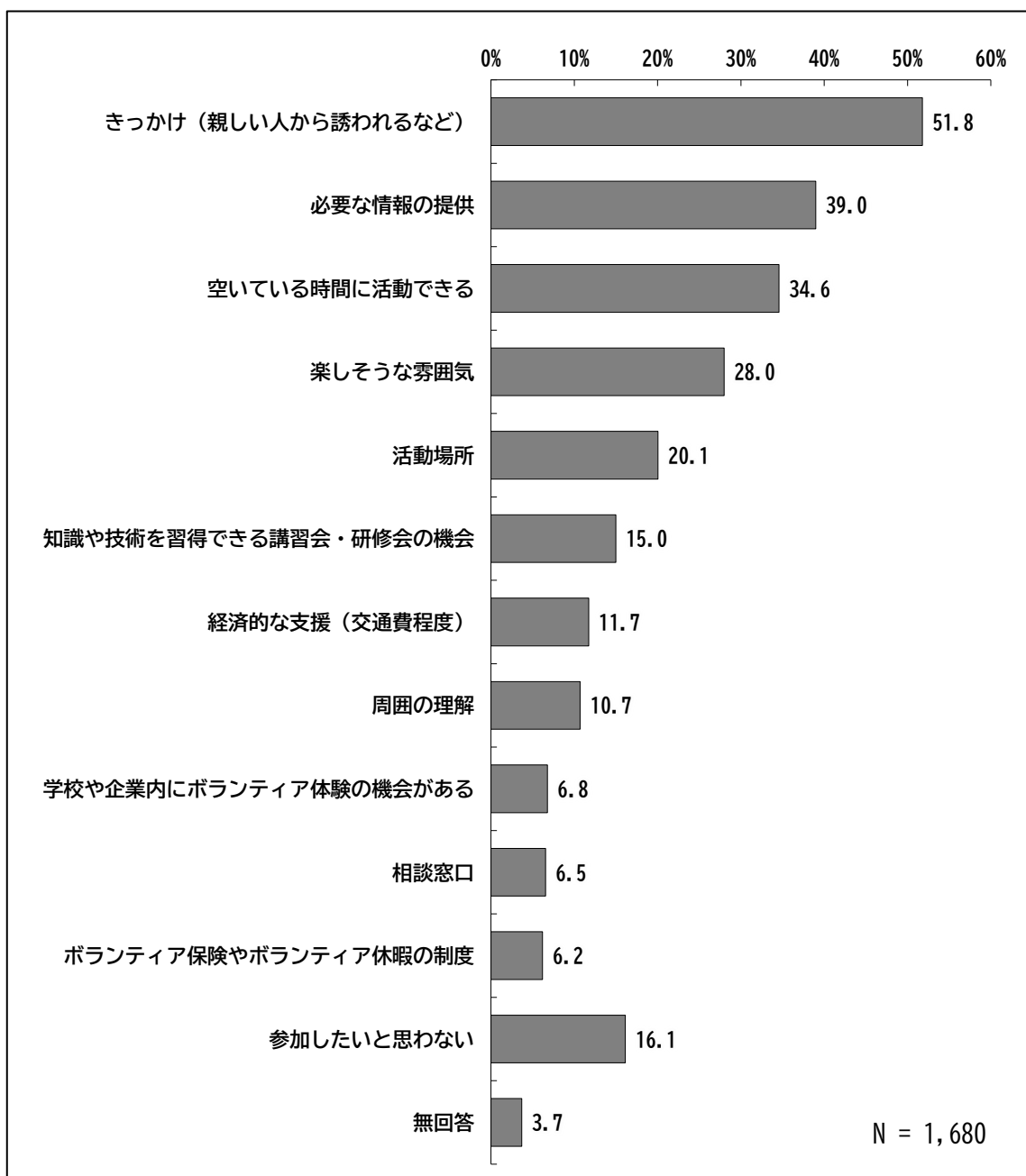
表 「顔見知りの関係」を築いていくための取組（年齢別）

		合計	問18 「顔見知りの関係」を築いていくために取り組めること (%)									
			近所での挨拶・声掛け	近所での普段からの付き合い	祭りなど行事への参加	や美化活動など 自治会町内会活動への参加（防犯）	趣味を通じてのグループづくり	掲示板を感じる） まちに感心を持つこと（回覧板や	活動を展開するリーダー	地域活動のちよつとした手伝い （空いた時間での活動など）	特にない	無回答
		(N)										
全体		1680	84.5	48.2	29.5	32.6	12.5	40.0	2.5	18.3	6.8	1.1
F2 年齢	30代以下	248	82.3	36.3	31.9	18.5	6.5	26.6	2.4	17.7	10.1	0.4
	40～50代	533	84.6	46.5	28.7	30.2	10.3	31.7	2.1	18.0	7.5	0.2
	60代以上	876	85.0	52.7	29.2	38.4	15.5	48.6	2.9	18.8	5.6	1.7
	無回答	23	82.6	43.5	30.4	21.7	13.0	47.8	0.0	13.0	4.3	4.3



**問 1 9 あなたが、地域の活動（自治会町内会、ボランティア、支え合い活動）の担い手として参加するために必要と思われることは何ですか。（複数回答）**

・「きっかけ（親しい人から誘われるなど）」(51.8%)の割合が最も高く、5割以上を占めている。また「必要な情報の提供」(39.0%)や「空いている時間に活動できる」(34.6%)や「活動場所」(20.1%)などの「情報」、「時間」、「場所」も重視している傾向となっている。また「楽しそうな雰囲気」(28.0%)も重視されている。一方、「参加したいと思わない」(16.1%)も一定数見られる。



**図 地域の活動参加に必要と思われること**

## ■ 地域の活動参加に必要と思われること（年齢別）

- ・ 世代別では、若い世代になるにつれて「きっかけ」や「楽しそうな雰囲気」の割合が高くなり、年齢が高くなるにつれて「必要な情報の提供」が高くなる傾向が見られた。ターゲットとする世代のニーズを意識しながら地域活動を考えることが、担い手を増やしていく上で有効と思われる。

### 【特徴的なポイント】

- ① きっかけ : 30代以下が6割を超えて突出している
- ② 空いている時間 : 40～50代の現役世代の割合が最も高い
- ③ 楽しそうな雰囲気 : 30代以下の割合が最も高い
- ④ 必要な情報提供 : 60代以上の割合が最も高い

表 地域の活動参加に必要と思われること（年齢別）

		合計	問19 地域活動の担い手として参加するために必要なこと											無回答		
			きっかけ（親しい人から誘われるなど）	必要な情報の提供	経済的な支援（交通費程度）	空いている時間に活動できる	活動場所	相談窓口	周囲の理解	楽しそうな雰囲気	知識や技術を習得できる講習会・研修会の機会	学校や企業内にボランティア体験の機会がある	ボランティア保険やボランティア休暇の制度		参加したいと思わない	
		(N)														
全体		1680	51.8	39.0	11.7	34.6	20.1	6.5	10.7	28.0	15.0	6.8	6.2	16.1	3.7	
F2 年齢	30代以下	248	62.5	29.4	14.5	37.5	15.3	3.6	12.5	37.1	13.3	14.1	8.1	15.3	1.2	
	40～50代	533	52.5	38.8	12.8	40.0	17.4	6.4	10.7	31.1	14.6	9.2	9.6	16.5	0.6	
	60代以上	876	48.5	42.0	10.3	30.9	22.9	7.4	10.3	23.6	15.6	3.4	3.7	16.1	6.1	
	無回答	23	43.5	30.4	13.0	17.4	21.7	8.7	8.7	21.7	17.4	0.0	4.3	17.4	13.0	

